

①乾性角結膜炎(KCS) (犬)

- ▶ シーズー、12歳、♀
- ▶ 症状：6歳から膿性眼脂、結球膜充血
- ▶ 治療：ドキシサイクリン内服

眼瞼温罨法

ヒアルロン酸ナトリウム点眼

シクロスポリン眼軟膏

→いずれも改善に乏しい結果（3年間）

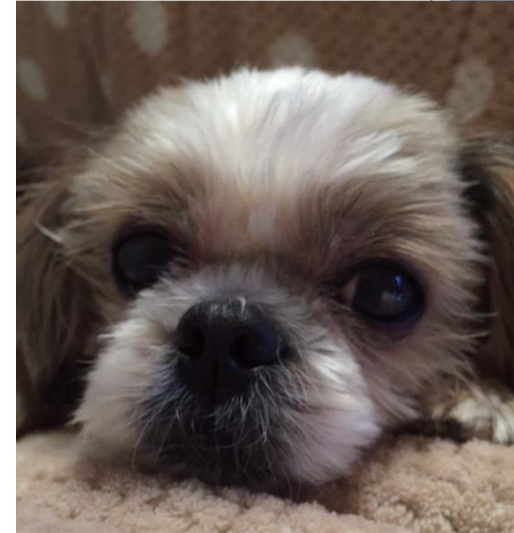
→**他家幹細胞治療**を選択（IV投与） ※併用治療：ヒアルロン酸0.3%点眼

- ▶ 計3回の他家幹細胞投与（ドナーは全て異なる健康個体）
- ▶ 投与細胞数

1回目： 1.3×10^6

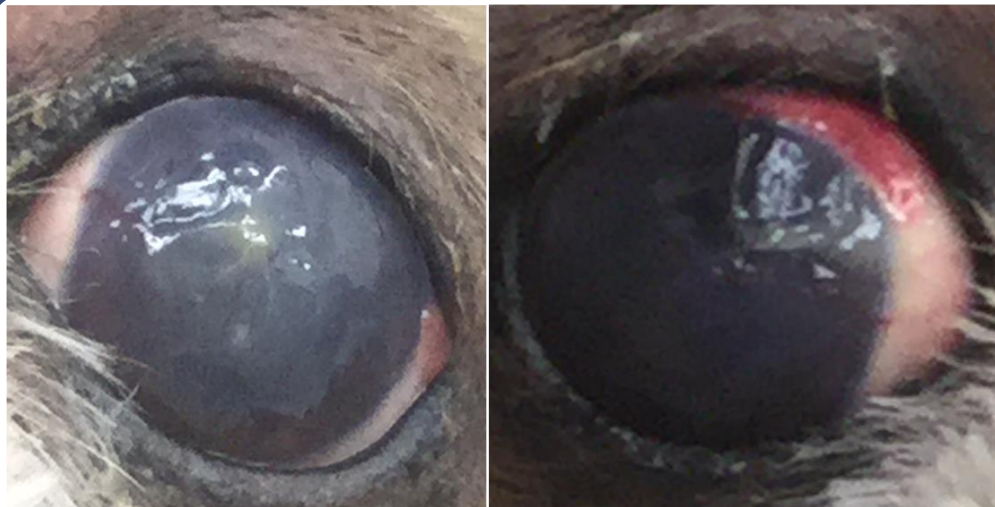
2回目： 5.0×10^6

3回目： 4.5×10^6



①乾性角結膜炎(KCS) (犬)

▶ 結果



左眼

右眼

STT 3mm

3.5mm

他家幹細胞治療前



左眼

右眼

STT 13mm

11mm

投与後14日目
(2回目の他家幹細胞治療前)

①乾性角結膜炎(KCS) (犬)

▶ 結果



左眼



右眼

STT	7mm	11mm
投与後28日目 (3回目の他家幹細胞治療前)		



左眼

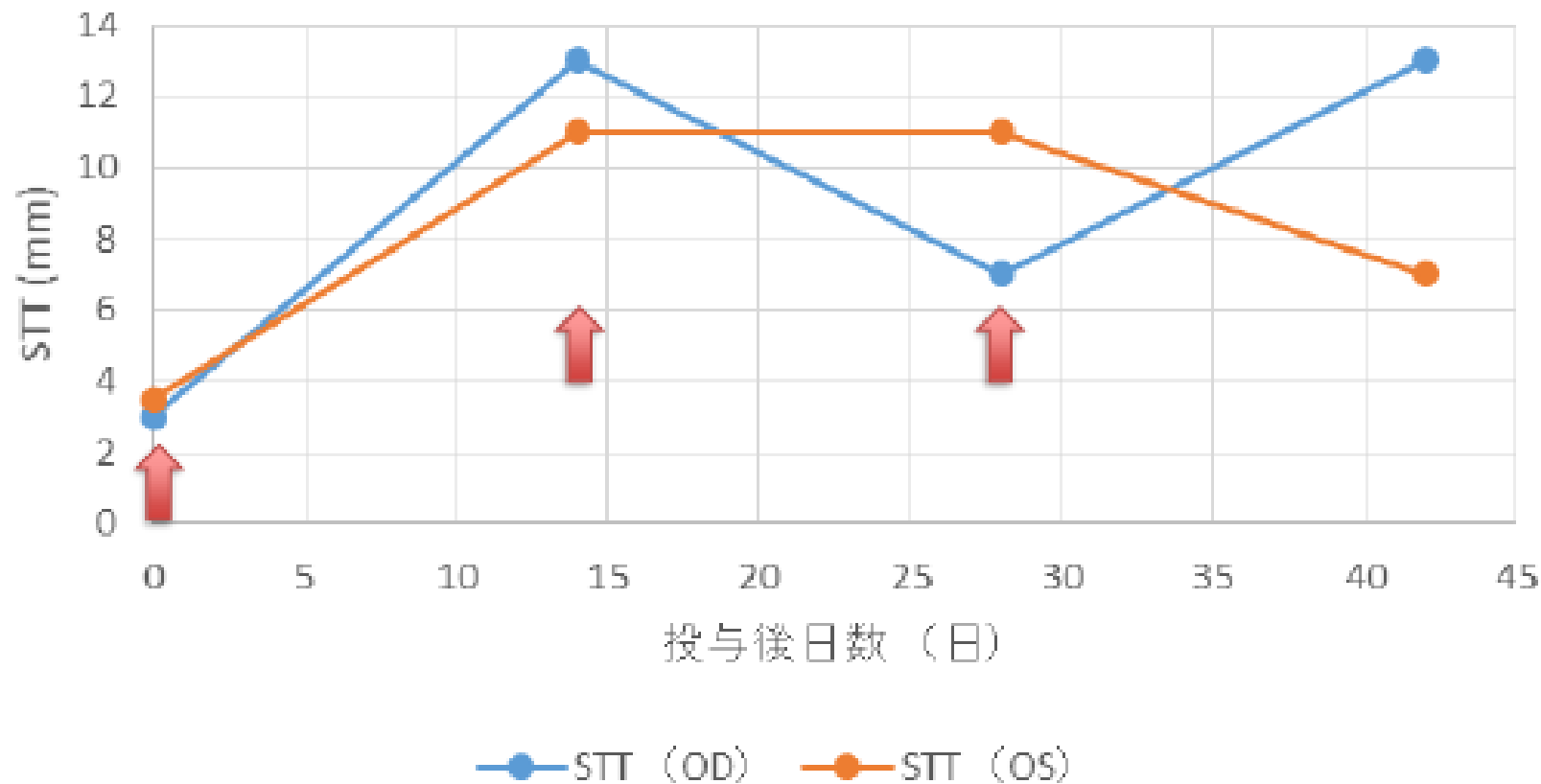


右眼

STT	13mm	7mm
投与後42日目		

①乾性角結膜炎(KCS) (犬)

他家幹細胞投与後日数と STT



- ▶ 1回目の他家幹細胞投与後には顕著なSTTの改善が認められた
- ▶ 一方で、2回目・3回目投与後にはさらなる改善は認められなかった

①乾性角結膜炎(KCS) (犬)

▶ 報告と本症例の違い

	Mauraらの15症例	本症例
ドナー	3頭の健康個体 (卵巣付近内臓脂肪)	3頭の健康個体 (鼠径部皮下脂肪)
投与回数	1回	3回
投与経路	全身麻酔科の局所注射 (上眼瞼結膜・第三眼瞼)	静脈点滴
投与細胞数	① 1×10^6	① 1.3×10^6 ② 5.0×10^6 ③ 4.5×10^6
効果発現までの日数	7日	14日
効果	STT増加	STT増加
併用薬	ヒアルロン酸0.2%点眼	ヒアルロン酸0.3%点眼

①乾性角結膜炎(KCS) (犬)

▶ 結果

- ・6年の病歴があり、かつ重度で既存療法が奏功しないKCSであった本症例に対し、他家脂肪幹細胞療法を実施したところ、明らかにSTT値の増加が認められた
- ・しかし、STT値の正常回復までには至らなかった
⇒このことはMauraら(2016年)の報告と同様の結果だった
- ※投与方法：局所投与(上眼瞼結膜・第三眼瞼)、投与細胞数： 1×10^6 (1回)
- ・治療期間を通じて、副作用は確認されなかった

▶ 今後の課題

- ・重度のKCSに対する他治療方法との併用による効果の検証
- ・幹細胞の投与経路・回数・細胞数の検討
- ・局所投与と静脈投与との効果の差の検証